

## 令和4年度 芦屋市自立支援協議会 専門部会について

## 1. 令和4年度専門部会の取組内容

昨年度の自立支援協議会実務者会にて、座談会で広く地域課題の抽出を行った結果、『居場所づくり』を今年度の専門部会のテーマとした。

## 2. 令和4年度の開催状況

	日時	場所	内容
第1回	令和4年 5月31日	芦屋市保健 福祉センター	・昨年度実務者会報告、今年度のスケジュール共有 ・居場所について意見交換、具体案の検討
第2回	令和4年 6月28日	木口記念会 館	・居場所実施までのスケジュール共有 ・「つむぐ広場」具体案の決定、役割分担、作業
9月27日 第1回つむぐ広場(保健福祉センター)			
9月30日 第2回つむぐ広場(ホザナカフェ)			
第3回	令和4年 10月19日	芦屋市保健 福祉センター	・第1・2回つむぐ広場の評価、課題抽出 ・課題解決に向けた、今年度の進め方とゴール設定
第4回	令和4年 11月18日	木口記念会 館	・A 既存の居場所の活用と周知 ・B 継続可能な居場所「つむぐ広場」の基盤づくりに取り組むこととなる
1月26日 第3回つむぐ広場(保健福祉センター)			
第5回	令和5年 2月7日	芦屋市保健 福祉センター	・A 既存の居場所見学とあしやねっと掲載の調整 ・B 第3回つむぐ広場の評価、今後の取組み検討
2月22日 第4回つむぐ広場(保健福祉センター)			
第6回	令和5年 3月9日	芦屋市保健 福祉センター	・今年度専門部会 活動内容のまとめ ・「居場所づくり」の地域課題解決の評価
3月28日 第5回つむぐ広場(保健福祉センター)			

## 3. 令和4年度の活動実績

今年度は当事者家族や居場所事業を行う職員等を構成員に迎えた。昨年度実務者会のヒアリングで把握したニーズを参考とし、居場所づくりプロジェクト「つむぐ広場」を開催。交流の場や親同士の情報交換の場となることを目的として開催を重ねた。令和5年3月、当事者家族を中心にボランティア登録団体「つむぐ会」を発足。今後は、権利擁護支援センターの人材バンク登録者や民生児童委員などの協力を仰いでいく。4月以降は毎月第3木曜日の午後4～6時に、芦屋市保健福祉センター等で実施予定。また、障がい者の居場所として活用しうる既存の居場所開拓に取り組んだ。地域支え合い推進員と連携しながら、当事者とともに居場所見学を行い、あしやねっとへの掲載で周知を行っている。今後は、社会福祉協議会地域福祉係、生活困窮者自立支援推進協議会の居場所プロジェクト、障がい福祉課主催の「みんなにやさしいお店登録事業」と連携しながら、継続した情報掲載や更新を目指していく。

## つむぐ広場

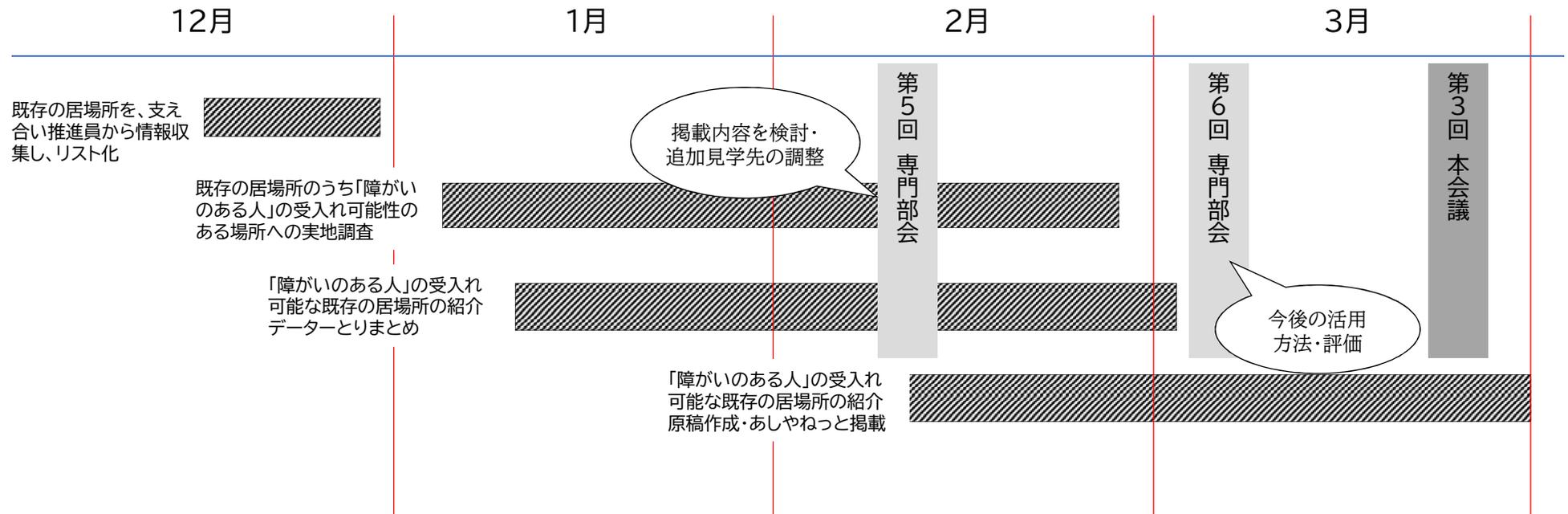
子どもも大人もわいわいがやがや！親子で一緒におしゃべりしませんか。一緒に過ごしながらか親同士で情報交換ができる場、参加者の交流の場ともなればと考えています。これから作る新しい居場所がより良いものになるようにぜひご意見をお聞かせください。高校生以上の方はお1人での参加もできますが、保護者の方も是非！

基本データ ※内容は変更の可能性があります

居場所名	つむぐ広場
居場所の担当者名	
住所	芦屋市呉川町 14-9 芦屋市保健福祉センター 多世代交流室など
アクセス 駐車場・駐輪場の有無	駐輪場・駐車場あり
開催日	毎月第3木曜日 午後4時～6時
特色やプログラム内容	ボードゲーム・ジエンガ・おしゃべりなど
参加費	
飲食の提供	
定員・来所人数	定員 10名
年齢層・性別	10代～
問合せ先・予約要否	要予約
運営者の思い	



令和4年度専門部会 報告「既存の居場所の活用」



「既存の居場所の活用」とは

- 既に市民に親しまれている居場所を洗い出し、「障がいのある人の居場所」として受け入れ可能な居場所を探し、障がい福祉ポータルサイト「あしやねっと♪」への掲載にて周知を行う

調査項目

- 内容やプログラムは、障がいに関係なく参加できるか。障がいの種別や度合で参加の可否が変わるか
- 障がいのある人が役割を見出せるか。スタッフとして参加可能か
- 職員や利用者に、障がいのある人を受入れる雰囲気はあるか
- 職員や利用者に、障がいのある人への理解はあるか。特性に応じた支援ができるか
- 設備等のバリアフリー環境はあるか。どんな障がいの人が参加できるか
- どんな配慮や工夫があれば、今後障がいのある人の居場所となりえるか

今後の展望

- ①社会福祉協議会地域福祉係
- ②生活困窮者自立支援推進協議会「居場所プロジェクト」
- ③障がい福祉課主催「みんなにやさしいお店登録事業」



上記機関からの情報提供をもとに、障がい福祉ポータルサイト「あしやねっと♪」への継続した情報掲載や更新を目指す

## つむぐ広場について

目的:

- 障がいのある人が立ち寄れる居場所。
- 親子で来て一緒におしゃべりできる場所。
- 親同士の情報交換ができる場所。

内容:

ゲーム おしゃべり お茶会 ぬりえやおりがみ ちぎり絵 安心できる中で雰囲気を楽しむ  
親同士の情報交換

対象:

障がいのある人とその家族など

申込方法:

グーグルフォームもしくは現地

日時・時間・場所:

月一回 第3木曜日 午後4時～午後6時  
多世代交流室

運営団体

つむぐ会 10名の保護者と応援してくれる市民で構成  
ボランティア団体登録をしました

経緯など

★R4年度自立支援協議会専門部会のテーマ「居場所づくり」からできたプロジェクトです

★過去5回(3/9時点では4回)のお試して得たノウハウ

ペースに配慮しながら一緒に過ごす。何回か参加すると気楽になれそう。

伝えるときは参加者のわかる言葉や表現で。遊びを介してコミュニケーション  
ジェンガ、人生ゲーム、トランプは盛り上がる。

二部屋あると良い。クールダウンできるお部屋(静かに過ごせる場の保障)や親同士で話できる場所  
木口記念会館は月火水は午後5時までなので木曜か金曜の設定とした。

お茶やお菓子があると良い。気持ちの切り替えや自然に休憩が取れる。

Googleフォームの利用、申し込み完了メールも。

駐車場の有無

★今後のこんなことができたらいいな

(R4年度自立支援協議会専門部会にて出たアイデア)

まずは継続。担い手をひろげる(民生委員さんや学生ボランティア等)

住まいの近くにあつたらと思うので、部屋が借りれるところを見つけて、場所を増やせれば  
助成金の活用